



CONTENTS

2~4	見学旅行
4	自転車部 居城さんが全国大会へ出場!
5	全道&全国高専体育大会結果 クラブ紹介
6	ロボコン プロコン
7	デザコン オープンキャンパス
8	泰日工業大学とMOUと締結しました タイ留学報告
9	高専祭
10	秋季校内体育大会 行事予定

見・学・旅・行・



4年 機械工学科 橋本 侑茉

前日に大きな地震と停電があり、見学旅行に行けるか不安だったが、何事もなく、テストもレポートもない幸せな5日間を送ることができた。

見学旅行では東京、京都などで6社もの企業を見学することができた。教科書や資料でしか見たことのない工場の景色を自分たちの目で見ることができ、また、自分たちの習ってきた専門知識がどのようなところで使われているのかを知れて、とても勉強になった。私の中で特に印象強かったのは企業の鉄工場で、実際に鉄を加工しているところを見ることができた。赤色の高温の鉄をローフで圧縮し、薄く引き伸ばしていく工程を見た。遠くからでも鉄の熱さを感じ、自分よりはるかに大きなものが加工されているところを見ることでとても面白く、感動した。

企業見学以外にも金閣寺と清水寺を訪れた。日本を代表する建造物を見て、良い思い出となった。また、移動中に周りを見渡すと北海道とは違う景色を堪能でき、とても新鮮だった。解散後の自由行動では、友達と行きたかった場所へ行き、たくさんのお土産を作ることができた。

この見学旅行で様々な思い出、知識を得ることができ、進路について考えるきっかけとなった。高専生活の中で一番思い出せるほど思い出に残る最高の見学旅行だった。



見・学・旅・行・



4年電気工学科 久保田 圭祐

この5日間では、見たもの、体験したものが多くありました。この経験を普段の生活、勉強に役立て、学校生活をより良いものにしていきたいと思いました。

4日目は奈良を見学し、5日目は無事解散しました。

この5日間では、見たもの、体験したものが多くありました。この経験を普段の生活、勉強に役立て、学校生活をより良いものにしていきたいと思いました。

3日目は、横須賀電力中央研究所に行きました。そこでは電力や送電トラブルの対策の研究や、実験機器の説明を受けました。電気工学科で学ぶような内容をこの場で説明を受けることで、普段学んでいることの重要さをよく感じる事ができました。

2日目は、東京1日自由見学をしました。普段歩かない東京を回ることと、いつもとはまた違う風景や施設を楽しむことができたと思います。

私たち4年電気工学科では、9月10日から9月14日までの5日間に東京、神奈川、京都、奈良を回りました。



・見・学・旅・行・



4年 電子工学科 岡本 行生

4年電子工学科は、4泊5日で東京、京都、大阪を訪れました。

1日目はフクダ電子株式会社白井事業所にて見学を行いました。フクダ電子は医療電子機器メーカーとして直接人命に関わる機器を製造しており、検査にあたつての厳格な品質管理体制がとても印象に残っています。

2日目は自主研修日で、私は江戸総鎮守 神明神社を始め様々な場所を回りました。夜、ホテルで再開したクラスメイト達はとてもいい顔をしていたので、各自充実した2日を過ごしたのだろうと思います。

3日目は新幹線に乗り京都に向かい、村田機械株式会社にて見学を行いました。繊維機械の特許技術は、海外でも高く評価されていることなど、とても勉強になりました。その後、初めての清水寺に行くことができました。

4日目は南禅寺、金閣寺、嵐山とどれも初めて見る景色で非常に感動しました。その後バスにて大阪に移動しました。

5日目は大阪城や、遊覧船による水路巡りで大阪の歴史について学ぶことが出来ました。

今回、待ちに待った見学旅行ということで、クラス一同にやや興奮気味に、かなり濃い時間を過ごすことが出来たのではないかと思います。この経験を活かし、クラス全員で無事進学・就職していける様、残り少ない高専生活を過ごして行こうと思います。



・見・学・旅・行・



4年 情報工学科 西谷 洋哉

高専生活で最大にして最高といえるイベント「見学旅行」。

二日目、釧路を出発して東京へ。まず訪れたのは都内にある株式会社「Phone Appli」。

オフィス内部や「連絡とれるくん」と呼ばれる働き方改革に貢献するアプリケーションを丁寧に紹介して貰いました。

次の東京タワーでは友人と戯れながら観光を楽しみました。

二日目、大型バスに乗り込んで茨城県つくば市の筑波大学へ。

広大な土地と並び立つ施設に圧倒されながら研究内容を教わったり、スーパーコンピュータの計算処理の講義を受講したりと貴重な体験をさせて貰いました。

昼食は大学の学食を利用し、次のAXA筑波宇宙センターでは宇宙食や宇宙服の仕組みや内部の見学を行いました。

三日目、新幹線で大阪へ。

到着後、すぐに大阪ガーデンパレスで昼食。

続いてパナソニックミュージアム松下幸之助歴史館にて、過去に使用されていた電化製品の展示やパナソニック誕生秘話など興味深い話を聞きました。

その後、あべのハルカス展望台で、高所恐怖症の友人の反応を楽しみつつ大阪の街並みを望みました。

四日目、万国博記念公園の太陽の塔を見学。

独特な世界観が広がる内装はどこか恐ろしげに見えました。

見学後は自由時間でしたが、私のグループは近場のららぽーとで昼食後、直ぐにホテルへ戻り、仲良くお昼寝。夜は皆とゲームセンターで過ごしました。

五日目、大阪から京都へ。最初に伏見稲荷大社へ行く筈でしたが、生憎の渋滞で仕方なく最後の観光地である三十三間堂へ。

友人に解説をしてもらい、本尊千手観音像を初めて生で見ました。

その後の京都駅でクラスは解散。解散後は友人と楽しい数日間を過ごしました。

就活、進学を考えなければならぬ今はとても大変な時期です。

そんな中での見学旅行は我々にとって素晴らしい思い出になったと思います。

見・学・旅・行・



4年 建築学科 丸山 弘夏

9/10〜9/14までの4泊5日で東京、京都、奈良、神戸に行きました。

東京では葛西臨海水族園やスカイツリーなどを見学しました。夕方からは自主研修でしたが、友達と行く東京は楽しすぎて早速夜の点呼で遅刻しました。原宿を大雨の中猛ダッシュする観光客、結構レアだと思います。

京都の自主研修は着物を着て祇園を散策しました。抹茶もあんこも食べられない私でも京都を楽しめたので、とてもすばらしい街だと思いました。

神戸では見学旅行史上初の竹中工務店の展示館に行き、日本の建築について話を聞きました。西澤先生が誰よりも楽しそうにはしゃいでいたのを覚えています。

そして、ガイドさんと付き添いの方が美男美女だったのでみんな寂しそうでしたが神戸で解散し、後泊は女子寮生でUSJに行きました。12人という大所帯で挑んだUSJ。

みんなほとんど寝ていなかったのに全部のエリアを制覇するあたり、4年女子寮生もまだまだフレッシュだなと感じました。

いつも一緒に生活している人たちと旅行に行くのはとても不思議な感じがしました。次はこのクラスで卒業旅行に行ってみたいです。



白転車部 居城さんが 全国大会へ出場!



「3年間の集大成」

「インターハイ」「国民体育大会」、これらの大きな大会に出場することは、高専から自転車競技(トラック)を始めた私にとって1年生からの目標で、3年生になった今年が最後のチャンスでした。

部内でトラック競技をメインに活動していたのは自分だけだったので、去年の冬から部長に協力してもらい、1人でトレーニングをおこなってきた。「全国の選手たちはもっと頑張ってる」「もう1セットいける」。そう自分に言い聞かせながらトレーニングルームで自分を追い込む日々は辛く、投げ出しそうになったこともありますが、しかし、追い込んだ分だけ、それが自信につながっていききました。その結果、6月の全道大会で優勝し、8月のインターハイ、9月末の国体にスプリント競技の北海道代表として、出場することができました。

万全の態勢で臨んだインターハイは48人中15位。大会の1週間前に落車してしまった国体は、34人中20位でした。どちらも決勝に進むことはできませんでしたが、全国の舞台で強豪校の選手たちとともに競い合うことができたという経験は、非常にいい思い出になりましたし、今までの練習の成果を精一杯出し切ることができてとてもうれしく思っています。

このように、インターハイ・国体といった全国大会に出場できたことが認められ、このたびは新奨学賞を受賞することができました。私が高専で自転車競技を続けること、および創新奨学賞を受賞できたことは、先生方や自転車部の部員たちそして両親の支えがあったおかげです。これからは勉学に励むとともに、支えてくれた人たちに少しでも恩返しをしたいと思っています。

3年 機械工学科
居城 拓真



【団体種目】		
競技	種目	結果
バレーボール	男子	優勝
	女子	2位
サッカー		2位
野球		2位
柔道		優勝
剣道		2位
卓球		優勝
テニス	男子	優勝
バドミントン	男子	優勝
	女子	優勝
陸上		優勝
バスケットボール	男子	2位
アーチェリー		2位

【個人種目】			
競技	種目	氏名	結果
柔道	60kg級	中村 有希(2年情報)	2位
	73kg級	古田 雄大(5年機械)	2位
	90kg級	坂本 尊(1年3組)	優勝
	90kg超級	福躍 海成(2年機械)	優勝
卓球	男子シングルス	佐藤 凌輔(5年電子)	優勝
	男子ダブルス	細川 虎楠(2年建築)	優勝
		上野 瑛大(2年電子)	
		佐藤 凌輔(5年電子)	
テニス	男子ダブルス	相澤 大晟(4年電子)	2位
		廣瀬 功多(3年機械)	
		斉藤 正紀(3年電気)	
	男子シングルス	堺 涼(4年電子)	優勝
バドミントン	男子ダブルス	堺 涼(4年電子)	優勝
	女子シングルス	遠藤 優雅(4年建築)	優勝
		工藤 海月(3年建築)	
		工藤 海月(3年建築)	
陸上	男子100m	村山 莉奈(3年機械)	優勝
		西村 湊太(5年建築)	
	男子200m	澁谷 陸(1年2組)	優勝
		西村 湊太(5年建築)	
	男子400m	澁谷 陸(1年2組)	優勝
		増田 啓介(4年機械)	
	男子4×100m	松崎 祐渡(5年電子)	優勝
		増田 啓介(4年機械)	
	男子4×400m	澁谷 陸(1年2組)	優勝
		加藤 奨基(1年1組)	
	男子砲丸投	荒木 純哉(3年電子)	優勝
		増田 啓介(4年機械)	
	男子円盤投	松崎 祐渡(5年電子)	2位
		高橋神ノ介(3年建築)	
	男子やり投	高橋神ノ介(3年建築)	優勝
		高木 翔平(5年電子)	
女子	女子100m	高木 翔平(5年電子)	優勝
	女子走幅跳	野崎 颯(1年3組)	2位
	女子走高跳	金子梨々香(1年3組)	2位
	女子走幅跳	平野 香羽(1年4組)	優勝

全国 & 全道

高専体育大会結果

■第53回全国高等専門学校体育大会

【団体種目】		
競技	種目	結果
バレーボール	男子	予選リーグ敗退
卓球	男子	予選リーグ敗退
柔道	男子	予選リーグ敗退
テニス	男子	1回戦敗退
バドミントン	男子	2回戦敗退
	女子	1回戦敗退

【個人種目】			
競技	種目	氏名	結果
陸上	男子100m	澁谷 陸(1年2組)	予選7位敗退
	男子200m	西村 湊太(5年建築)	予選7位敗退
		澁谷 陸(1年2組)	
	男子400m	松崎 祐渡(5年電子)	予選3位敗退
		加藤 奨基(1年1組)	
	男子4×100m	西村 湊太(5年建築)	予選8位敗退
		松崎 祐渡(5年電子)	
		荒木 純哉(3年電子)	
		澁谷 陸(1年2組)	
	男子4×400m	加藤 奨基(1年1組)	予選7位敗退
		野崎 颯(1年3組)	
		荒木 純哉(3年電子)	
		松崎 祐渡(5年電子)	
	男子砲丸投	高橋神ノ介(3年建築)	24位
	男子円盤投	高橋神ノ介(3年建築)	22位
	男子やり投	高木 翔平(5年電子)	23位
		野崎 颯(1年3組)	
	女子100m	金子梨々香(1年3組)	予選6位敗退
	女子走幅跳	平野 香羽(1年4組)	第14位
	女子走高跳	金子梨々香(1年3組)	第3位
卓球	男子シングルス	佐藤 凌輔(5年電子)	予選リーグ敗退
	男子ダブルス	細川 虎楠(2年建築)	予選リーグ敗退
柔道	男子90kg級	上野 瑛大(2年電子)	2回戦敗退
	男子90kg超級	坂本 尊(1年3組)	2回戦敗退
バドミントン	男子シングルス	福躍 海成(2年機械)	1回戦敗退
	男子ダブルス	堺 涼(4年電子)	1回戦敗退
		遠藤 優雅(4年建築)	
	女子シングルス	工藤 海月(3年建築)	2回戦敗退
	女子ダブルス	工藤 海月(3年建築)	1回戦敗退
		村山 莉奈(3年機械)	

みなさん、こんにちは。釧路高専柔道部です。

私たち柔道部は、平日(月曜から金曜)の放課後、釧路高専の武道館で練習をしています。

(剣道部とはお隣さん同士です。武道館の半分は畳を敷いて柔道部が使い、残りの半分は剣道部が使っています。)

ちなみに休日は基本的にお休みです。人生で一度しかない学生時代なので、それから部活だけではもったいない。勉強はもちろんです(高専生だしね)、趣味も持ったら良いし、学校外での活動にも機会があったら参加したら良いのではないのでしょうか？休養も大事ですよ。(良い部活ですよ！)

さて本校の柔道部の特徴は、なんといっても、上級生から下級生まで、みんな仲が良いということです。(武道系の部活ですが、先輩をしごく先輩なんていません！)

また部員には中学生の時に初段を取ってしまったような経験者もいれば、高専入学後に柔道を始めた初心者もいますが、部員同士で教えあつて、みんな楽しく、かつ真面目に、仲良く練習しています。

そんな和気あいあいとした部活ですが、高体連での全道大会出場、高専大会での全国大会出場を目標に頑張っています。

クラブ紹介



顧問 鈴木 俊哉先生

ロボコン

5年電気工学科 真野 広夢

高専ロボコンを振り返って

今年の競技内容は、人間でも難しい「ボトルフリップ」というスゴ技にロボットが挑戦し、自陣の8つのテーブルに向かって、ペットボトルを投げて立たせるといったものでした。ペットボトルの中身はチームごとに決めることができました。め、ペットボトルを投げる仕組みだけでなく、ペットボトルの中身でも発想力が問われました。

また、今年から「手動ロボット」だけでなく「自動ロボット」がルールに加わり、競技の難易度がとても高くなりました。

Aチームは初めての「自動ロボット」に挑戦しましたが、なかなか思うようには動きませんでした。それでも得点を取ることはできたので、今後につながる大きな歩になったと思います。Bチームは低学年主体の若いチームで、メンバーのほとんどがロボコン未経験者でした。初めてということもありましたが、様々な困難に立ち向かっていく姿は非常にたくましく感じました。

Aチーム、Bチームともに良い結果を残すことはできませんでしたが、今後のための良い経験になったと思います。今年の経験を糧に日々努めてまいりますので、今後とも我々の活動を見守っていただけると大変嬉しく思います。



プロコン～課題部門～

3年情報工学科 篠田 裕人

今回の競技部門は二人がエージェント、一人がそれに指示を出す司令官に分かれて行う陣取りゲームでした。結果は予選リーグで二勝二敗、敗者復活リーグは二勝一敗で予選敗退となりました。競技のためにC++の読み取り用のソフト、C++の指示伝達用の探索アルゴリズムを開発しました。メンバー全員が初めてのチーム開発だったので、うまく役割分担ができずに開発が難航しました。また、事前に練習を満足に行えなかったため、試合で指示伝達ミスが頻発してしまいました。開発したアルゴリズムを十分に活用できなかったことが心残りです。

今年の高専プログラミングコンテスト課題部門では「C++を活用した地域活性化」というテーマで私達は「TABLETRAY」というタブレットとトレイを一体化させたデバイスとZEDを使った新しい販売システムを作りました。ZEDが使えるタブレットを用意することが難しく作業も難航し、一部実装ができなかった機能がありました。会場内には釧路のことを知っている人が多く、出展ブースでは良い雰囲気がありました。来年度もテーマが同じなのでこの反省を活かし、もっと良いものができるように頑張りたいと思います。

プロコン～競技部門～

3年情報工学科 堀内 琉郁



デザコン〜空間デザイン部門〜

建設・生産システム工学1年 中尾 光希

よく建築ではセンスが大切というイメージがありますが、センス以上に経験・貪欲さ・馬力が必要です。(あと杜撰のセンス)はじめは軽い気持ちから始めてみましょう。僕にも建築学分野の全学生の周りにも今回の経験を活かす機会が多く転がっています。4、5年になって気づいたように始めても遅いです。やる気がある人には自分のように後悔してはしくないので。

最後に、作品製作に携わってくれた建築学分野をはじめとする学生の皆さん、お忙しい中指導いただいた教員の皆様、大会運営にご尽力いただいたスタッフの方々、僕に多くの刺激を与え、建築のおもしろさに気づかせてくれた本科時代の仲間たちへ、心より感謝をいたします。

本科4年次から取り組んでいたデザコンの空間部門。大会としては15回目の今年、まわってきた開催地は釧路。開催校として、釧路高専の名前を本選の舞台に上げないわけにはいかないという気持ちは昨年度からありました。もともと専攻科への進学も、こういうことに挑戦する時間が欲しかったというところが大きな理由でした。今回、入賞は逃しましたが、本選出場という形に残すことができ、これまでの時間を少しは意味のあるものにできたかなと思っています。

また、今回のデザコンでは多くの建築学分野の学生スタッフが会場を体感しました。それぞれが全国の高専生から刺激をもらい、建築に対する見方や考え方が変わった人もいいると思います。今年は釧路高専建築学分野として大きな成長を始める年だと考えています。今回で刺激を受けた低学年が授業の課題やコンペを精力的に取り組み、経験を積んで、高学年になったときには成果を発揮する。それを見た次の低学年がさらなる刺激を受けて年々レベルを向上させていくというサイクルを作り出すチャンスがあります。



4年建築 三橋明也

何百もの銅線パーツを切り、はんだでひたすらくっつけるというなかなか気の遠くなる作業でしたが楽しかったです。1ヵ月半かけて作成した橋がものの数分で崩れてゆくさまは圧巻でした。

4年建築 道尾啓吾 日高寿廣

僕は今回アーチ型ではなく三角形の橋を設計しました。三角君は、予想よりもはるかに耐える結果を残してくれましたが、終盤の40kgまで耐えたのなら最後まで耐えてほしかったと思います。正直悔しかったです。来年もチャレンジしたいと思っています。

4年建築 猫本啓徳

私は今回のメンバーの中で唯一銅線の橋の経験者でした。作成の途中で橋の主要部分を落としてしまい強度が下がりましたが、予想以上に耐えたので頑張った作った甲斐がありました。

デザコン〜構造デザイン部門〜

オープンキャンパス
校務主事 小田島 本有

7月21日(土)、22日(日)の両日、オープンキャンパスが開催され、二日合わせて700名近くの方々に越えただきました(この数は昨年並みです)。昨年は分野ツアーの時間が「長かった」という声が多かったため、多少余裕を持たせるようにしました。実施後のアンケートでは、昨年に比べ分野ツアーや体験教室を「一番良かったイベント」と回答している人の割合が増えています。この他に、こちらでは部活見学、寮見学、お茶会、リケジョカフェなどを用意しました。体験教室は人気のあるイベントですが、人数的に限りがあるため抽選から外れた方もいらっしゃいました。こちらでは急遽定員の枠を広げたり、新たに別の体験教室を用意したりするなど致しましたが、それらは必ずしも十分とは言えません。分野ツアーや各分野の展示、体験教室などでは学生たちが来場者の方々に説明をしましたが、そのパフォーマンスに感心してくださる方も少なくありませんでした。あるいは部活見学を通して「先輩がとても親切にしてくださっていただければ幸いです。」など、好意的な自由記述がけっこうありました。中学生や小学生の皆さんが今後進路を考える際の参考にしていただければ幸いです。



ようこそ
釧路高専へ オープンキャンパス

創設工業高専専門学校

今後、TNIとの学生及び教職員の相互交流をとおして、より活発な国際交流活動を推進することが期待されます。





高専祭



学生会会長
4年建築学科 新井 純

おかけしてしまふこともありました。

当日は幸い天候にも恵まれ、地域の皆様など多くの一般の方にも足を運んでいただくことができました。ステージ企画も大変盛り上がり、後夜祭の花火も学生の皆さんには楽しんでいただけたかと思います。

今年度の高専祭は多くの方々に助けていただいた高専祭であったと感じています。運営を行った執行部員はもちろん、例年との変化に柔軟に対応してくださった一般学生並びに教職員の皆様や外部業者様皆さんのご協力があったことで成功した高専祭だと、学生会会長という立場になつてとても感じました。来年度からは後輩の運営する高専祭です。不安もありますが、期待しています。

みなさんこんにちは、学生会会長の新井純です。

10月20、21日に高専祭が行われました。今年度の高専祭テーマは『54「まだ返せる」でした。私たちが第54期学生会ということや、赤点を想像させることから高専らしさがあるのではといった理由から決まったもので、内輪ネタから生まれたものでした。そのせいか、テーマはあまりいい評判をいただけませんでした……

今年の高専祭は例年とは違う部分が多く、学生会執行部員や一般学生の方も準備段階から大忙しだったかと思えます。一般学生や教職員の皆様には「迷惑を



行事予定

12月22日(土)	閉寮日
12月25日(火)	冬季休業(～1月6日(日))
1月 6日(日)	開寮日
1月15日(火)	臨時休講(授業参観日振替)
1月17日(木)	学生会立会演説会・冬季校内体育大会
1月18日(金)	学生会役員選挙・冬季校内体育大会
1月19日(土)	本科推薦選抜
1月23日(水)	後期補講期間1
1月26日(土)	企業ガイダンス(4年・専攻科1年)
1月30日(水)	後期補講期間2
2月7日(木)～ 14日(木)	後期末試験期間
2月15日(金)	5年 退寮日及び答案返却期間
2月17日(日)	本科学力選抜
2月18日(月)	臨時休校
2月19日(火)	1～4年 合同HR及び答案返却期間
2月20日(水)～ 25日(月)	後期末補習期間
2月22日(金)	専攻科学生特別研究発表会
2月26日(火)～ 27日(水)	1～4年後期末再試験
3月 4日(月)	再試験時間割揭示
3月 6日(水)～ 8日(金)	1～4年学年末再試験
3月 8日(金)	1～4年閉寮日
3月15日(金)	卒業式(第50回)・修了式(第14回)
3月16日(土)～	春季休業



秋季校内体育大会

